

ウクライナ支援 ポーランドへの感謝

伊那市のピアニスト平澤さん

8月27日リサイタル

伊那市出身のピアニスト・平澤真希さん。同市上牧によるウクライナ支援のためのピアノリサイタルが8月27日に同市のニシザワいなっせホールで開かれる。平澤さんは以前、ウクライナに隣接するポーランドを拠点に長年活動。収益金は、軍事侵攻を受けているウクライナの支援に取り組む同国へ贈る計画だ。

（小坂和史）



来場を呼び掛けるピアニストの平澤さん（左）とクラシックワールド事務局長の北沢さん（右）

伊那市が主催し、地域の音楽企画などを手掛けているNPO法人クラシックワールドが主管。ポーランドはウクライナからの難民を受け入れるなどして支えている。リサイタルは同国への感謝を示し、支援の一助につなげる。

平澤さんは伊那北高校卒業後、東京音楽大学で学び、1993年から16年間、ポーランドのワルシャワに居住。

世界各地で音楽活動を展開し、ウクライナのテレビで地元のオーケストラと共に演奏した経験もある。

リサイタルでは、ショパンの「ノクターン 遺作」やシマノフスキの『仮面劇』よりドン・ファン のセレナー

デ」などポーランドになじみのある曲を披露する。自身が上伊那の自然に触発されて作った曲も予定する。

平澤さんはウクライナの人たちの音楽への造詣の深さを挙げつつ、戦禍にある現状を「切なく、信じられない」と語る。自身もポーランドの人々に幾度となく助けられた経験などを踏まえ「普段の生活の中で、助け合いや許し合いが大切だと思う」と指摘。リサイタルを「命や生きることについて考えるきっかけになってほしい」としている。

クラシックワールド事務局長の北沢理光さん。同市富良野は「自分も何かしなければ」と思った。音楽でポーランドの人たちの気持ちが伝わってほしい」と期待していた。

午後1時半開場、同2時開演。入場料は一般2000円、高校生以下1000円。全席自由。チケット販売や問い合わせは、伊那市生涯学習センター（電話0265・78・5801）へ。